

家庭教育はたいせつ

学校長 伊藤弥寿

○三つ子の魂百までも  
昔から言われていましたが、学校教育や社会  
教育で培われるものはすべて、乳幼児期に家庭で培わ  
れたものが土台になつて、積み重ねられたものだとい  
うことです。だから家庭教育は生涯を  
通じて、あらゆる教育の基  
本だと言えます。

学校教育は子どもの育成  
にとって必要な知識や経験  
を系統的に計画に従つて与  
えていく場です。また社会の基  
の側でも系統的な育成の計  
画を準備する重要性があります。

現代の複雑な社会に於いて、すべての教育の責任を  
親が担うということは、ほ  
とんど不可能ですから。  
しかし子どもの心身両面  
にわたって育成し、一人前の  
社会人として人生へ送り  
出す責任を最終的に負つて  
いるのは、親であることを考  
えますと、家庭教育の重  
要性は、昔も今も変りませ  
ん。

○家庭教育を考え直そう

近頃非行少年の低年齢化  
が問題にされています。教育環  
境の善し悪しは、経済力の  
有無とか片親とか、形の上  
での尺度では計れなくなつ  
たことです。中流家庭や両  
親健在の裕福な家庭に補導  
される少年が増大の傾向に  
あります。子どもを悪の道  
に走らせる原因はいろいろ  
あります。つまり、自由主義の  
誤解からの放任、急転する  
社会に順応できないことか  
ら享楽主義に流れる、マス  
コミの氾濫の影響、留守家  
族の増大等々。だが最も大き  
く深刻な原因は家族制度  
の崩壊による精神的な支え  
を失つた今日の家庭にある  
ようです。古い家長を柱と  
した「家」はなつかしいで  
いるのではありませんが、  
経済成長をとげた今日、ま  
だ人造りの点で、新しい支  
えを見出せないままにいる  
今日の家に起因するのでは  
ないでしょうか。

○家庭教育の高揚に努め  
よう。

町教育方策の本年度の重  
点目標は、次の五項目です  
が、その第一項として家庭  
教育の高揚が取りあげられ  
ています。

一、家庭教育の高揚  
二、学習指導の徹底  
三、健康教育の推進  
四、生徒指導の充実  
五、社会教育の振興

家庭教育は私教育である  
が、人格形成の基盤としてそ  
の役割は極めて重要である  
よって関係機関、関係団  
体との連携を密にし、両親  
の指導と研修を充実し、教  
育環境の整備や、両親のた  
めの相談を充実し前進に努  
めたいと指示しています。

幸にも本校下の皆様に  
は深い教育への理解があ  
り、從来から学校と家庭が  
信頼の上に立って相携えて  
児童の育成にあたつてまい  
りました。また母親学級があり  
、児童のしつけや学習環  
境についても、教育に

新緑の候となりました。皆様には益々御健勝にてお勤めのようす、誠に喜ばしい限りです。

昨年一年間は、ブールの清掃や避難道路の整備等、ご協力下さいまして有難く感謝いたしております。また今までさみしい思いをしておりました校歌が、今年の二月に誕生しまして盛大な発表会が行われましたことは、校下一同の大慶事です。あると思っております。子供たちも小規模校の割にはよくがんばつてくれました。カルタ大会三位、卓球大会の女子優勝をはじめとしてよい成績をあげましたのは一に皆様方の熱意の賜であると共に、役員の方々や先生方のおかげであります。ほんとうに有難う存じます。

本年度も昨年度におとらぬ活躍を期待しておりますので、校下をあげて協力を頂けるようお願い申し上げます。

申しますまでもなく愛護会の目的は、会員の研修と児童の福祉の増進であります。会員の研修の方は、母親学級での研修とPTA研修会

新緑の候となりましたが、皆様には益々御健勝にてお勤めのようす、誠に喜ばしい限りです。

昨年一年間は、ブールの清掃や避難道路の整備等、ご協力下さいまして有難く感謝いたしております。また今までさみしい思いをしておりました校歌が、今年の二月に誕生しまして盛大な発表会が行われましたことは、校下一同の大慶事です。あると思っております。子供たちも小規模校の割にはよくがんばつてくれました。カルタ大会三位、卓球大会の女子優勝をはじめとしてよい成績をあげましたのは一に皆様方の熱意の賜であると共に、役員の方々や先生方のおかげであります。ほんとうに有難う存じます。

本年度も昨年度におとらぬ活躍を期待しておりますので、校下をあげて協力を頂けるようお願い申し上げます。

申しますまでもなく愛護会の目的は、会員の研修と児童の福祉の増進であります。会員の研修の方は、母親学級での研修とPTA研修会

御あいさつ

會長 藤田久右門

三 新任の先生

如意弘

新郷校によせていただきまして、早や三ヶ月が過ぎ去ろうとしております。緑一色の木田に囲まれ静かな学舎のなかに、動的な躍動がみなぎつてゐる学校。これが新郷校の第一印象です。

次に、施設・設備特に視聴覚の備品及び、資料等がよく整えられてることに感心いたしました。とともに外部者によく見せようとする視聴覚教育が、まだまだ幅をきかせている。昨今におきまして、本校では、児童のための機器利用が、児童自身の手によって行なわれております。一方、トランス・ベアレンシー等の資料も、それぞれの教科ごとに、たゞちに活用できるよう配慮されております。資料はありましても管理設備の不備のために死滅され、活用する機会を失う場合がよくあるものです。が、この点、新郷校はすばらしい。

また、小規模校であるための利点なのか、全校児童と校長・教頭先生をはじめ教職員が一心同体、家族的になつながらりで交なつてゐるところと、同じくを交なつてゐる心が通じ合つよう暖かみのある雰囲気に満ちあふれています。

私は、嶺南の学校をかわりに、金津・三国そして芦原町と教員生活二十余年新郷校によせていただきました。してはじめて、心の暖みを感じました。このようすはしばらくしてはじめて、心の暖みを感じました。このようすはしばらくしてはじめて、心の暖みを感じました。あわせ者だと思います。これから、本校のめざす、人間像、「心、広く」「正直」「たまめしく」常に念頭におきまして、ベストを尽して頑張つていきたいと思つています。

愛護会の会員のみなさうかよろしくお願ひいたします。

けに恐い存在だと思います。一口に娘と云つても簡単ではありません。勉強しなければ解らない事だらけです。

そんな時、母親学級で話し合つたり講話を聞いて自分で自分の血とし肉と、そして何かの問題がある時その解決の緒(いとぐち)になるのがありますし、又、自分を高揚させる為にも、大きな役割をはたしてくれることがあります。

私もやつと母親学級といふものに目ざめだした矢先になります。「しないか」ということです。所得倍増とか、いざなぎ景気とか、調子のよい言葉、云われていますが、一方では物価の値上がりがはげしく、家庭生活は、むしろゆとりがなくなってきたくらいです。食費も相当地に切りつめないと、とても子どもを上を育てきたいのです。

学校に入ることは、不可能である為に、最近の母親は、だいたい留守にしがちになり、それだけ、母と子がいつも一緒にいて、何ものにも変えられない幸せであり、それとも、家庭のありがたさがわからず、非行の道へ走つてしまふのではなくつております。

団楽ということは、子どもにとって、何ものにも変えられない幸運であり、それとも、家庭のありがたさがわからず、成績だけに熱中させられる教育ママが、多く、これで

子供を持つ母親にとって一番の心配は、「非行少年になりはしないか」ということです。所得倍増とか、いざなぎ景気とか、調子のよい言葉、云われていますが、一方では物価の値上がりがはげしく、家庭生活は、むしろゆとりがなくなってきたくらいです。食費も相当地に切りつめないと、とても子どもを上を育てきたいのです。

学校に入ることは、不可能である為に、最近の母親は、だいたい留守にしがちになり、それだけ、母と子がいつも一緒にいて、何ものにも変えられない幸運であり、それとも、家庭のありがたさがわからず、非行の道へ走つてしまふのではなくつております。

団楽ということは、子どもにとって、何ものにも変えられない幸運であり、それとも、家庭のありがたさがわからず、成績だけに熱中させられる教育ママが、多く、これで

黒田 雪子

「非行防止への一案」

もまた、子どもにとつて、楽しみがなく、家庭が冷たさ牢獄のように感ぜられることからまた、「非行が生まれ出る」と多いのです。性格は生まれつきといわれますが、もつと大切なのは、円満な家庭で育ち人間と人間との結びつきだと思いつます。性格は生まれつきといわれますが、もつと大切には、一番これを恐れている母親自身のやり方に、ある原因は、やはりほかならぬ、おえみ、これが会話、ほおえみ、これが母親のないかと、考えるのは、こうしてみると、非行の原因は、やはりほかならぬ、一番これを恐れている母親自身のやり方に、ある原因是、やはりほかならぬ、一番これを恐れている母親自身のやり方に、あるのであります。

今、多くの母親は、生活の苦しさで悩んでおりますが、子どもの将来を明るい愛情、そこからせんとんじみ出てくる子どもとの会話、ほおえみ、これがある限り、ぜつたい、非行へ走る心配はないでしょ

ふれた。母のほほえみに接してこそ、子どもはしっかりと成長できます。

夕日が西の空をほんのり紅く染める頃になると、私の三人の子どもは元気よく、「ただいま！」と呼びながら帰ってきます。見ると、毎日のようにも全身どろんこ（特に長男はひどい）になっています。「まだか。きたない！」と大声でどなりたいのを、グッとがまんして「ハイ、お帰り」といい、笑つて迎えてやります。それから、矢つぎ早に目を輝かせ、手ぶりおもろしく、話は、ザリガニ、オタマジャクシ、かえる、子ねこ、かたむり、生き物と遊んだことばかりであります。特に長男はドロを肩まではねて、手も足もズックも、壁をぬったように、よそへ向つて飛び出して行く、姿に「怪我さえしなければ、人に迷惑さえかけなければ、道と小川、草原と美しい自然があります。学校から帰るときも、壁をぬったように、外に向つて飛び出して行く、姿に「怪我さえしなければ、人に迷惑さえかけなければ、道と小川、草原と美しい自然の中で仲々と遊ばせてやりたいと思つています。けんかをやり出します。けんかの相手もなかつた一人っ子の私は、これも止めることのできない成長への大きな仕事だ。と思つて黙認をしています。三人が三様の自分の思いを主張します。これも、みんなで一応聞いてやることにしようと家族で話し合っていますが、生活が追われて実行できない事を反省します。

「広いな、これが神戸港か。」  
六 年 三上儀秋  
港には、五十万石以上もある  
るような船が、たくさん停  
泊していた。まだおどろく  
ことがあった。今は、修理  
中だが、せんせいさんがあ  
つた。僕は、せんせいさんと、よ  
く話し合い、少しでもよ  
く話し合いたいと思つた。  
もうすこしいった所に何百  
万石という大きな船が造船  
所で造られていた。僕は、  
よくまあ、人間の力である  
に大きな船が造られるもの  
のだと心感した。それに、  
よく計算だけて海に船を浮  
かばせられるな、と思つた。  
三国にも、船はあるが、一  
位からせめて十二・十三  
位の船ばかりだ。そう思い  
ながら、いろいろな船を見  
ていった。  
見ているうちに、神戸港に  
停泊している船が、「かいぶ  
つ」のようと思えた。  
それに、「造船」といわれるだ  
けあって、「さすがだと思つた。  
遠くで見ていると、それ  
ほど大きく感じないが、近  
くで見るとほんとうに大き  
い船だという実感がわいて  
きた。  
福井県にも、あんな船がき  
て海の交通の便がよくな  
ってほしいけれど、公書の問  
題がでるので、今までの生  
活でいいし、このままのほ  
うが楽しいと思う。

神戸港めぐり

おとうさん  
三年 山崎嘉一  
ぼくのおとうさんは、お  
こりときは、「こちらあ  
と、おこります。おとうさ  
んは、力持ちでめぐみな  
んかかるく持ち上げて  
しまいます。いつもおと  
うさんは、ビールを一、二  
はいのみです」  
「なんですきかな」と聞くと  
「のんだときはスカッと  
するから。」  
「なんだと、よく答えを言  
つてくれます。」  
「おとうさんのあだ名は  
ガメラです。ぼくのあだ名は  
ぶたみたいだからです。」  
「おとうさんのあだ名は  
めぐみは、小ぶた、おかあ  
中ぶたで、こんなこと言う  
と、言うと  
「おもしろいから。」  
と言いました。ぼくも  
ぶたみたいだからです。  
おとうさんのあだ名は  
どうしてかというと、まゆ  
がガメラに似ています。  
おとうさんは、ひらくと  
日曜になると、ぼくと  
おとうさんは、この前植え  
たためを見に行きます。  
早くなってくれないか待  
つちやこっちへいくので、  
おとうさんは、ぼくに当  
たつてあせをかきます。

と、おしえてくれました。  
「ほくはほんとかなあと  
おもつてんだから、ほんとう  
にほくはかわいいので  
なでてやりました。そし  
たらうれしそうでした。  
ぼくはこれからうん  
と大きくそだててやろ  
うとおもいました。

四年 山崎陽利絵

バスは三国レンタカーへ  
で行きました。バスの中で  
おなががすいたので、おじも  
当を食べました。おかしも  
食べました。

みんなでマイクを持つ  
て歌を歌いました。  
しばらくすると大野じよ  
うに着きました。お城の中で  
見て歩きました。このお  
城は、きれいで作り直し  
そうです。長い階だんを  
登りました。それから、  
むかしの道具をみせてもら  
いました。

またしばらくすると、九  
りゆうダムの入口の所に  
来ました。そこでの水の流れは  
は静かで色は緑色でした。  
バスからおりようとした  
けれど、そのままゆめのか  
け橋にむかいました。とち  
ゅうたくさんの橋をわたり  
ました、みんなは、橋。  
「これかな。これかな。  
」と言いました。

と、橋があるたびに言いま  
した。

そしてとうとうゆめのか  
け橋の近くまで来ました、み  
んないつせいに、「ああ。  
」と言いました。

どんな橋だつたかと言う  
と、それはコンクリート  
つり橋でした。わたしはその  
れを見てすばらしい橋だな  
と思いました。

その近くでお弁当を食べ  
ました。バスの中でもおい  
ぎり食べたので、少しし  
か残つていませんでした。  
それから、たきになつて  
水の流れている所で遊びま  
した。

とっても楽しい一日でし  
たが、とってもおなかもす  
きました。

「小さな牛追い」  
この物語で、ぼくは、牛追いはいたいへんだな。年五歳の、牛追いを始めた。それは、ここに出てくるエイナールが夜起きる。ようして、起きる。それがおそくなつてしまつた。エイナールが夜起きる。ようして、起きる。の、牛追いを始めにいつまでも、いろいろな事けんにまきて、こまれていいくからだ。でも、そのおかげで、二人は、ほんとうは仲いいんだなつてわかった。オラは、エイナールと仲よくしたくてたまらなかつた。エイナールも、オラと仲よくしたくてたまらなかつたのに、二人ともはずかしくて言えなかつた。そこで、ぼくは早く「仲よいしよう。」といいえばいいのにとじりじりりとぼくが、かんどうしたつのは、オラが、ひつしになつて、神さまに、「エイナールをぶじ返して」といのつたことだ。それは、オラがこれほどまでにエイナールのことを思つていては、思ひなかつたからだ。ぼくらでも、そんなことはある。だから、オラの気持ちはよくわかる。なぜかといふと、兄や弟と仲よくしたいと思うけど、なぜか前へでて、あうと、二人きりでいる時、どんな気持ちがしたかと思ふ。それが、なぜか悲しい。ぼくは、エイナールが森の中に入ります。すると、そこには弱虫とか、言つてぼくのことを、わらうだぞう。どつちみち、ぼくは、ついていないんだ。あは、どうすれば、いいだろ。うそと迷つたらう。いいだろ。うしわらわれるのが、くわいし、森にいると、こわい

島　　どうにもならない時  
　　の気持ちといつたら、なんとも言えない悲しい気持  
　　ちだ。オラとエイナールの方に、  
　　の気持ちは、ここでべつべつになってしまっている。  
　　だからエイナールは牛、エイナールの方に、  
　　氣をとられている。エイナールが帰った時、  
　　エイナールが帰った時、オラは、みんなにうれし  
　　かったことか。  
　　でも、エイナールにいのいへつて、またおこつて  
　　ついていた所を見られたのではなか  
　　ではないか、と、はずかしく思つて、またおこつて  
　　しまつた。  
　　エイナールも、牛のことがま  
　　心配で、どうやつて聞き聞  
　　だそらかと心がどきどきして  
　　いたんだ。  
　　この時の二人の心がま  
　　つきりちがつてゐるのでも、  
　　おもしろく思つた。  
　　でも、いざには、き  
　　と、仲よくなつてほん  
　　うの仲のいい兄弟になるだ  
　　ろう。  
　　そしてまた二人ともがく  
　　ばつて仕事をしていくだ  
　　う。  
　　ぼくもこれからは、兄  
　　やんや 彩と仲よくくら  
　　ていこうと思う。  
　　そして 責任をもつて  
　　自分の仕事をしたり、活動  
　　ようと思つた。

きのうのこと  
一年

2

愛護会事業計画	愛護会の主な事業は、全体会員会で左記の通り決定しましたのでお知らせします。
○部落教育懇談会	年 二回
○補導査察	六月下旬
○ブーム清掃	八月上旬
○勤労作業	九月二十日
○運動会参加	九月下旬
○給食費徴収	七月下旬
○研修旅行	芝の草取り
○母親学級開設	年 二回
○郷の集い発刊	年 二回
○保健料徴収	毎月
○会員の方々には、それぞれ職場をお持ちで参加には相当の困難が予想されます	が、愛護会の発展のため万難を排してご出席下さるようお願い申上げます。
五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月 一二月 三月	母親学級実施計画 「会議になれる」ことに込んで実施したいと思いま 軽くする意味で、校庭の草取りもできるだけお願いす るつもりであります。 開講式・講話 ブーム清掃奉仕 授業参観・学級懇談 民踊練習 授業参観・クラブ 授業参観・講話 授業参観・講話 開講式・講話 授業参観・クラブ